

市議会3月定例会

施政方針・当初予算に審議が集中

24年度の市政運営を問う

平塚市議会は、平成24年2月23日から3月23日まで30日間の会期で3月定例会を開催しました。

今定例会では平成24年度一般会計および特別会計、病院事業会計の当初予算案が市長から提案され、審議の焦点となりました。そのほか、市役所新庁舎建設工事の契約を変更する議案などが提案され、合わせて37議案を原案どおり可決しました。

また、議員提出による会議案として「障がい者総合福祉法(仮称)の早期制定を求める意見書」など2案件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。※議案と審議結果は8面に掲載しています。

当初予算に4つの基本方針 市の方向性が示される

平 成24年を迎え、初めての議会開催となった3月定例会。その初日には、平成24年度の市政運営に対する施政方針および当初予算について市長が説明を行い、「市制施行80周年の節目を迎えるにあたり、今まで築いてきた先人の功績を引き継ぐとともに、活力に満ちたまちづくりの実現に向けてまい進する」と表明しました。

平成24年度予算については「平塚市総合計画の着実な取り組み」「行政改革の推進」「健全財政の維持」「決算等を踏まえた予算編成」の4つを基本方針として編成したとされ、これを踏まえた一般会計予算は、新庁舎建設費や次期環境事業セ

スタジアムが熱狂!

快進撃が続く湘南ベルマーレ



内システム整備費の減少などから前年度より3億3700万円、2・6%減少し125億2500万円となりました。

以上のことから、全会計を合わせた予算総額は1733億2900万円となり、前年度当初予算と比較して2・8%、49億4870万円の減額となりました。

本 会議2日目から5日にかけて行われた

代表質問・総括質問では、市長が表明した施政方針や当初予算に対してさまざまな角度から質問が行われました。また、「新庁舎建設」

また特別会計予算は、競争事業特別会計において特別競争の開催がないことなどから大幅な減少となり、前年度より125億7170万円、14・8%減少し24億400万円となりました。病院事業会計予算は、院

「次期環境事業センター整備」「市民病院整備」の三大事業や、防災・減災対策をはじめとする市民の安心・安全を守るための取り組み、今後の財政運営やその見直しなどを巡り意見が交わされ、市政運営の方向性をただしました。

本会議5日目に、国と市が合同で進めている平塚市庁舎・平塚税務署新築工事の工事請負契約を変更する議案が追加提案されました。これは建設地から発見された汚染土壌の掘削除去と地中障害物の撤去工事を行うためのもので、工事費が約8億8300万円(国の負担額約9300万円を含む)増額されます。このことから、工事費の総額は約135億8300万円(国の負担額約14億9300万円を含む)となります。

新庁舎建設費を約8.8億円増額 総額約135億円の事業に

共工事の積算基準にのっとり十分に精査したうえで算出した金額であるとの答弁がありました。また第1期工事が約10か月遅れる見込みであることが問われたのに対し、今後工程等の調整を行う中で極力工期を短縮する考えであることが示されました。本議案が付託された総務経済常任委員会でも、市の責任や追加工事費の国との負担割合、市民に向けた情報提供の在り方などの質疑が行われました。以上のような審議を経て、本議案は賛成多数で原案どおり可決されました。